

学習指導案の形式（例） 小学校理科

第○学年○組 理科学習指導案

平成○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を記述する。

2 単元の目標

【例1 総括目標のみを記す場合】

- （例：～を ～しながら調べ、～する活動を通して、～についての見方や考え方を養う。）

◇単元の目標は、児童の実態、教材の意味などを基に設定する。
 ◇主として、学習指導要領に示された目標及び内容を踏まえ、それらに照らし合わせた児童の実態や教材の意味などを考慮しながら、単元全体を見通した目標を設定する。
 ◇各学年目標が示されている文型に単元の内容を当てはめて目標を設定することもできる。
 ◇児童の立場で書く。

【例2 総括目標と具体的目標の両者を記す場合】

(1) 単元の目標

- （例：～を ～しながら調べ、～する活動を通して、～についての見方や考え方を養う。）

(2) 具体的な目標

- 「自然事象への関心・意欲・態度」に関する目標
 - ・（例：～を調べようとする。）
 - ・（例：～を見直そうとする。）
- 「科学的な思考・表現」に関する目標
 - ・（例：～について予想や仮説を持ち、表現することができる。）
 - ・（例：～して考察し、自分の考えを表現することができる。）
- 「観察・実験の技能」に関する目標
 - ・（例：～を調べる実験やものづくりをすることができる。）
 - ・（例：～を調べ、その過程や結果を記録することができる。）
- 「自然事象についての知識・理解」に関する目標
 - ・（例：～ことを理解することができる。）

◇設定した単元目標を、さらに、「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的な思考・表現」、「観察・実験の技能」、「自然事象についての知識・理解」の4観点で目標を設定する。
 ◇このようにしてできた目標は、実現状況を示す評価規準となる。
 ◇児童の立場で書く。

3 単元の評価規準

自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解
例：①～を調べようとしている。 ②～してものづくりをしたり、～を見直したりしている。	例：①～しながら追究し、表現している。 ②～して考察し、自分の考えを表現している。	例：①～する工夫をし、～して、安全に実験している。 ②～を調べ、その過程や結果を～のように記録している。	例：①～ことを理解している。 ②～ことを理解している。
◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 理科】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、適切に設定することが望ましい。			

4 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	主な学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法	
一	1	○主な学習活動 (例：～について予想する。)	○主な指導・支援 (例：～することにより～を捉えることができるようにする。)	○評価規準 〔評価の観点〕(評価方法) (例：～している。) 〔関心・意欲・態度〕 (行動の様子)	
	2	◇指導と評価の計画の作成に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 理科】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、適切に設定することが望ましい。	めあて		◇学習活動に応じて、評価規準を具体的に書く。 ◇評価方法も合わせて書く。 ◇毎時間の評価の観点は、一つか二つ程度に絞る。
	3		まとめ		
二	1	◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。	

◇「関心・意欲・態度」、「思考・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点全てを1時間の授業で評価するのではなく、それぞれの時間の授業において、特質的に、的確に評価できる観点到絞って評価する。そのため、どの授業においてどの観点から評価するかを示した評価計画を作成する。評価計画は単元レベルで作成し、本時案には、その計画に位置付けた評価の観点と、それぞれの観点における評価規準を記す。

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国・県学力調査との関連

◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観……………取り上げる単元の内容、既習事項との関連、今後の展開、その単元を取り上げる意義、単元・教材と児童の関係など。
- ◇児童観……………児童の理科における興味・関心・意欲、単元に関する知識・技能、既習事項の定着度など、前単元までの実態や本単元で育てたい望ましい児童像。
- ◇指導観……………指導・支援の力点、学習形態、仮説、その他の配慮事項など、児童のよさや可能性を生かすような工夫や手だて。
- ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に記述し、研究主題と授業研究における指導仮説を明確にして書く。
- ◇全国・県学力調査との関連…現状と課題、課題についての取組を書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

例：～についての考えを持つことができる。

- ◇単元の指導計画に即して、本時の学習活動の目標を具体的に示す。
- ◇単元の目標や評価規準との整合を図る。
- ◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
<p>1</p> <p>◇児童の立場で書く。</p>	<p>○ ◇学習活動に対して主となる指導・支援を書く。</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p>	<p>◇児童の立場で書く。</p>
<p>2</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って児童の学習活動を書く。</p> <p>◇一人一人の児童が何をめあてに活動すればよいかをつかめるように具体的に書く。</p> <p>◇複数の活動があれば、(1)、(2)のように明記する。</p> <p>◇岡山型学習指導のスタンダードの単位時間の授業5(ファイブ)を参考にする。</p>	<p>めあて</p> <p>○ ◇児童の目的意識のまとめりや活動目標など、本時のめあてを示す。</p> <p>◇本時で何をどのように学ぶかの見通しがもてるようにする。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手立てなどについて留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される児童の反応 ・児童一人一人の学習進度に応じた手だて ・児童が主体的に、学習を進めるための手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>○例：～を一緒に確認することで、～できるようにする。</p> <p>◇「努力を要する」状況(C)と判断される場合における児童への手だての例を示す。</p> <p>◇「十分満足できる」状況(A)となるようにするための児童への手だての例を示す。</p>	<p>◇本時の目標との整合を図る。評価の場面は1、2か所。</p> <p>◇評価規準を具体的に書く。</p> <p>◇評価の観点や方法を書く。</p> <p>[評価の観点](評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 等
<p>3</p>	<p>○</p>	<p>○例：～を調べ、その過程や結果を定量的に記録している。</p> <p>[技能]</p> <p>(行動の観察・ワークシートの記述)</p>
<p>4</p>	<p>○</p>	
<p>5</p>	<p>まとめ</p> <p>○ ◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、めあてと対応したまとめの文章表現の例を示す。</p> <p>◇まとめは、本時の目標や学習内容に応じて柔軟に位置付ける。</p>	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する児童の姿の例

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿を具体的に書く。

(3) 準備物

(例：ピーカー、温度計、金網、…)

◇ワークシート、実験プリント、その他実験器具等必要な準備物を書く。